

会社名:	有限会社 ホリケン	承認	承認	承認	承認	承認	承認
第112回 安全衛生協議会		議事録					
実施年月日	2021年10月02日	議事録作成者			山崎 雄貴		
責任者	堀 峰也	出席者			別紙参照		
<b>《安災システムにて開催致しました》</b>		2 「新しい生活様式」において体を動かす工夫 (20分)					
1	建設現場の事故防止等のためのヒヤリ・ハット (20分)	【外出自粛・在宅勤務下での身体活動】					
建設業の労働災害は、近年、減少傾向にありますが、依然として多くの事故が建設現場で発生しております。		普段から元気に体を動かすことで、 <b>糖尿病、心臓病、脳卒中、がん、ロコモ、うつ、認知症</b> などになるリスクを下げることができます。「新しい生活様式」においても、生活の中で体を動かす機会をみつけたり、少しでも元気に体を動かす工夫をしましょう。					
1件の重大事故の背景には29件の軽微な事故があり、さらに300件のヒヤリハット(事故には至らなかったものの、ヒヤリとした、あるいはハットした事例)があるという <b>ハインリッヒの法則</b> と言われるものがあります。		【日々の健康を維持するために、体を動かしましょう】					
労働災害を更に減少・撲滅させるためには、このようなヒヤリ・ハットの段階での危険の芽を摘むことが重要です。		「健康づくりのための身体活動指針(アクティブガイド)」では、「1日60分、元気に体を動かすこと」を奨励しています。通勤で歩くことや階段を利用すること、家の中で掃除したり庭の手入れをすることなども身体活動(体を動かすこと)です。「新しい生活様式」における、さまざまな場面で活動的に過ごす工夫をしてみましょう。					
国土交通省では、技能者の労働災害を未然に防止するのに役立てて頂くため、職種ごとに専門工事業団体を通じて各企業よりヒヤリハット体験事例の情報共有がされていたのでヒヤリハット事例を紹介。		「1日60分」は連続した時間でなくてもかまいません。アクティブガイドでは、まずは、 <b>今より10分多く体を動かす「+10(プラス・テン)」</b> を奨励しています。					
		3 必須動画閲覧 (15分)					
		①「おうちクラブ」ヒヤリハット講習					
		②正しいマスクのつけ方					

